



おしらせ(1月)



○お弁当の日(2園合同 秦野市中央運動公園) 1月16日 (全園児)

前日は冬とは思えない暖かい気候でしたが、当日はあいにくの曇天・・・それでも子どもたちのパワーに寒さもどこかに行ってしまったようで、公園に到着し写真撮影をした後、自分がやりたい遊具目指して、元気に走って行きました。1番人気のローラー滑り台では、友達や先生と一緒に滑ることでスピードアップするのが楽しく、何回も行っていました。「怖いからやらない」と初めは見ていたターザンロープにも勇気を出して挑戦し、できた時には大喜び!その後は何回もスリル感を味わっていました。

お弁当の後も元気が余っている子どもたちは、また遊具に走っていき、帰りの時間まで思い切り体を動かしていました。帰りのバスの中での3歳児はウトウトする子が多く、幼稚園に着いた時は「ここはどこ?」という様子でした。

3学年一緒に園外保育は最後でしたが、「お弁当一緒に食べようね」と異年齢で約束している子どもたちも見られ微笑ましく感じるとともに、今までの交流を通して自然なつながりが深まっていることを実感しました。



○園バス避難訓練 1月21日 (全園児)

2回目の訓練となる今回は、荷物をすべて持ってバスに乗った状態での訓練でした。肩にかけているカバンや水筒など置いていくことは逆に難しく、課題も残りました。しかし園バス内では静かに待ち、後ろの非常口からスムーズに降りることができていて、訓練の成果も見られました。今後も定期的に訓練を行い、非常時に備えていきます。



○お別れ遠足に向けて～クッキー作り・お店屋さん開店 1月29・30日 (年長児)

大根・さつまいもなど幼稚園の畑でできた野菜を売っても交通費や入場料などまだ足りません。「水族館は諦めて吾妻山だけにしようか」「でも水族館行きたい子がかわいそう」何とか資金を稼ごうとまた話し合いが始まります。「お賽銭箱を作る」「水族館見学(行けなかった時のために)」「キーホルダーやクッキーを作る」などいろいろな意見が出て最終的にお店屋さんを開くことに決まりました。翌日から早速準備です。目的がはっきりしていて、しかも楽しいことならさらに意欲も協力体制も高まります。前日のクッキー作りでは、大きさより数で勝負のようで「100個作ったよ」と大喜びで袋に詰めていました。当日は年長組保護者だけでなく、年少中組保護者の方も参加してください盛大にお店屋さんが開催されました。同時に役員さんも廃品回収をしていただき予想外の資金が集まりました。子どもたちの一途な思いと全員の思いを叶えてあげたいという担任の熱意そして保護者の皆様のご理解とご協力すべてが力となり、お別れ遠足の実現となりそうです。皆様の温かいご支援・ご協力本当にありがとうございました。



○保育参観発表会「おおかみと7匹の子やぎ」 1月31日 (年少・いちご組)

「トントントン」「何の音」おおかみと子やぎのおかけこは、1学期からいろいろな場で行われ、遊びながら自然な形でごっこ遊び、劇遊びへと進んでいきました。年長組の劇を見せてもらった後「マーメイドのダンス踊りたい」「ペイペイをやりたい」など憧れの気持ちと同時に自分たちもやってみたいという思いも出てきました。子やぎ・お母さんやぎ・おおかみ・・・いろいろな役になり楽しんで行う中で「捕まるのはやだ」「自分のお家を作りたい」「ポケモンおおかみがいい」など子どもたち一人一人の思いをていねいに受け止め、それぞれのペースに合わせて無理なく進めていきました。

当日「ちょっと恥ずかしいな」という子には「ぎゅっとすれば大丈夫」と励ますと、ニコニコ笑顔で張り切って参加できました。大好きなペイペイでドーナツをゲットし、ペイペイダンスを踊っている時の満面の笑顔、そして終わった時の「あ～楽しかった」という言葉と表情は満足感、達成感であふれていました。途中お家から出て来ない友達を「こっちだよ」と誘ったり、自己紹介と一緒に言ったり、自分のことで精一杯なのに友達のことを考える場面も見られ友達関係がしっかりと育っていることをうれしく感じました。

その後作ったお家の中で給食を食べるなど劇の余韻も楽しんでいます。

